

専門教育科目

講義科目

基本/記述

授業科目名	高齢者の福祉	科目コード	配当年次	単位
担当教員	小野 洋子	HA55	1	2

科目の概要

高齢者を取り巻く環境は、自身の健康面でも、経済面でも、家族関係においても実に多様化してきている。そして、高齢者が生き生きと安定した老後を過ごすために何が必要なのか、ますます見えにくくなってきている。

本科目では、高齢者が自立期、虚弱期、要介護期、ターミナル期を通して、安心して生活を送るために必要な援助とは何か、また社会環境、保健医療、法制度、ケアサービスなど、高齢者を支える仕組みについて学習する。

科目の到達目標

- ① 高齢者を取り巻く社会的環境の傾向と特徴、法制度の経緯、ケアの基本概念、地域包括ケアシステムについて理解できる。
- ② 高齢者福祉政策や地域社会の取り組み等に関して、利用者の視点に立った的確なサービスのあり方、問題点や課題等を分析・考察できる。

テキスト 『高齢者福祉の世界 補訂版』直井 道子 他（編）,有斐閣,2014年

テキストの読み方

- ① テキスト各章の冒頭ページに記載されているリード文と図版を見て、全体構成と問題意識のポイントをおさえる。
- ② テキスト第1部を読み、まず高齢者の生活と老いについて理解する。
- ③ 第2部・第3部から、高齢者やその家族が必要とする援助について、高齢化の段階を追って理解する。
- ④ さらに第4部を読み、超高齢社会に向けた福祉政策の改革の方向性を考える。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。